令和元年度千葉大学教育学部附属中学校学校評価（自己評価）報告書

千葉大学教育学部附属中学校

1　令和元年度学校評価の基本方針

（１）本校の学校評価（自己評価）は、文部科学省「学校評価ガイドライン」（平成22年7月20日）に則して実施し、以下に沿って自己評価報告書の作成と公表を行う。

①　令和元年12月に、本校生徒・保護者・教職員（管理職を除く）に対して学校評価アンケートを実施し、それをふまえて令和2年3月に、本校管理職による「学校評価（自己評価）報告書」を作成し、本校生徒・保護者に対して本校ホームページ上で公表する。

②　「学校評価（自己評価）報告書」について、以下の学校関係者から意見等を聴取する。

・令和2年4月　第１回PTA運営委員会において本校PTA役員より

・令和2年5月　第１回学校評議員会において本校学校評議員より

なお、教育学部附属四校園の学校評議員会は、令和2年9月に「令和元年度千葉大学教育学部附属学校園学校評議員会学校評価報告書」を作成し、公表する予定である。

（２）本校の学校評価（自己評価）は、中等教育を行う学校としての一般的な評価項目についてとともに、国立大学教員養成系学部附属学校としての社会的使命及び本校の学校教育目標に照らした評価項目を盛り込んだ学校評価として行う。

（３）本校の学校評価（自己評価）は、「学校評価ガイドライン」の趣旨の通り、自らの教育活動その他の学校運営について、組織的・継続的な改善を図り、その説明責任を果たすことが第一の目的である。そのことによって、保護者等から理解と参画を得て、連携協力による学校づくりを進めることを意図している。さらに、学校設置者である国立大学法人千葉大学によって、その結果に応じた支援や条件整備等の改善措置が講じられ、教育水準の保証・向上が図られることを目的として行う。

2　本校学校評価（自己評価）の実施概要

（１）学校評価アンケートの実施

①　学校評価アンケートは、本校生徒・保護者・教職員を対象として、学習指導・生徒指導・学校運営（教育環境の整備・教育方針の具現化・附属学校としての責務の遂行等）に関する項目について、評価基準は5…そう思う 4…ややそう思う 3…どちらとも言えない 2…あまりそう思わない 1…そう思わない の5段階での評価を依頼した。

②　学校評価アンケートの回収率は以下の通りであった。

・生徒…　95.8%　　・保護者…　70.6%　　・教職員…　100.0%

（２）学校評価（自己評価）報告書（本書）の作成

①　本報告書は本校副校長及び校務室教員が対象者ごとにまとめた原案をもとに、校長の責任において総括した。その際に、学校評価アンケートに反映されていない要素をも含めた、包括的な自己評価となるようにした。

②　本年度の学校評価アンケートについては昨年度一部修正を行っており、経年比較にも配慮し、今年度は昨年度と同様とした。なお、△はマイナスを示す。

3　学校評価アンケートの結果の概要

（1）生徒アンケート

評価基準は5・・そう思う　4・・ややそう思う　3・・どちらとも言えない　2・・あまりそう思わない　1・・そう思わない　の5段階です。

	番号	評価項目	学年	5	4	3	2	1	平均	30年度平均	増減
学習指導	1	先生はわかりやすく工夫した、充実した授業をしていると思いますか。	1年生	99	32	15	3	1	4.50	4.52	△ 0.02
			2年生	73	48	16	3	1	4.34	4.40	△ 0.06
			3年生	99	32	8	3	1	4.57	4.29	0.28
			全学年	271	112	39	9	3	4.47	4.40	0.07
	2	あなたは、自ら計画を立て、学校外で適切に学習ができていると思いますか。	1年生	43	60	24	18	4	3.81	3.87	△ 0.07
			2年生	34	57	29	12	9	3.68	3.84	△ 0.16
			3年生	70	51	13	7	2	4.26	3.89	0.38
			全学年	147	168	66	37	15	3.92	3.87	0.05
	3	あなたは、積極的に意見を発表したり、自分で課題を解決したりできていると思いますか。	1年生	50	51	33	14	2	3.89	3.76	0.13
			2年生	28	52	32	24	5	3.53	3.80	△ 0.27
			3年生	70	36	24	8	5	4.10	3.83	0.27
			全学年	148	139	89	46	12	3.84	3.79	0.04
生徒指導	4	先生は一人一人の性格や考え方を大切にし、良さを伸ばす指導をしていると思いますか。	1年生	82	37	22	6	3	4.26	4.30	△ 0.04
			2年生	64	41	24	11	1	4.11	4.15	△ 0.04
			3年生	86	35	14	5	3	4.37	4.06	0.31
			全学年	232	113	60	22	7	4.24	4.17	0.08
	5	先生は困った時に親身になって対応していると思いますか。	1年生	85	31	26	4	3	4.28	4.31	△ 0.03
			2年生	66	47	22	2	4	4.20	4.25	△ 0.05
			3年生	92	27	17	3	4	4.40	4.18	0.22
			全学年	243	105	65	9	11	4.29	4.25	0.05
	6	あなたは、ルールやマナーを守り、学年にふさわしい規律や規範意識をもつことができていますか。	1年生	88	41	17	4	0	4.42	4.50	△ 0.08
			2年生	75	50	9	5	2	4.36	4.60	△ 0.25
			3年生	102	30	8	2	1	4.61	4.37	0.23
			全学年	265	121	34	11	3	4.46	4.49	△ 0.03
学校運営	7	学校の施設・設備や備品は安全で、よく整備されていると思いますか。	1年生	67	54	19	2	8	4.13	4.14	△ 0.00
			2年生	62	47	17	10	5	4.07	4.21	△ 0.14
			3年生	76	42	17	5	3	4.27	4.17	0.10
			全学年	205	143	53	17	16	4.16	4.18	△ 0.02
	8	学校は自分が将来、社会に出た時に役に立つ力をつけてくれていると思いますか。	1年生	80	48	16	4	2	4.33	4.55	△ 0.22
			2年生	70	42	24	4	1	4.25	4.40	△ 0.15
			3年生	96	30	14	1	2	4.51	4.27	0.24
			全学年	246	120	54	9	5	4.37	4.41	△ 0.04
	9	学校の行事や生徒会活動・学級活動、校外学習など特色のある活動になじんでいると思いますか。	1年生	100	31	16	1	2	4.51	4.65	△ 0.14
			2年生	81	43	10	5	2	4.39	4.60	△ 0.21
			3年生	110	25	5	0	3	4.67	4.44	0.23
			全学年	291	99	31	6	7	4.52	4.56	△ 0.04
	10	本校に入学して良かったと思いますか。	1年生	103	31	14	2	0	4.57	4.54	0.03
			2年生	75	30	27	5	4	4.19	4.51	△ 0.32
			3年生	120	16	2	2	3	4.74	4.34	0.40
			全学年	298	77	43	9	7	4.50	4.46	0.03

①　学習指導

学習指導に関しては、質問１「先生はわかりやすく工夫した充実した授業をしていると思いますか。」に関しては平均値が4.47となっていて、昨年度よりも0.07ポイント向上している。２年連続の向上である。授業に関して言えば、ほとんどの生徒が好意的にとらえていることが確認できた。教職員の日々の教材研究の成果が現れていると解釈することのできるデータの一つであると言える。質問２「あなたは、自ら計画を立て、学校外で適切に学習ができていると思いますか。」、質問３「あなたは、積極的に意見を発表したり、自分で課題を解決したりできていると思いますか。」の項目に関しては、昨年度と同様に平均値が４を下回っている。しかし、昨年度よりは0.05ポイント程度向上している。自分自身の評価に関しては厳しくなりがちである。こういった点を考慮すればおおむね良好であると考えている。しかし、「あなたは、積極的に意見を発表したり、自分で課題を解決した

りできていると思いますか。」については、他の項目と比較すると平均値が低い傾向にある。生徒の「主体的な学び」の実現のためにさらなる工夫が必要な状況であると言える。

② 生徒指導

生徒指導に関しては、全ての質問の平均値が４を上回っている。「先生は一人一人の性格や考え方を大切にし、良さを伸ばす指導をしていると思いますか。」と「先生は困ったときに親身になって対応していると思いますか。」に関しては、昨年度よりわずかではあるが向上している。教職員が生徒の一人一人の状況を踏まえ丁寧に指導を行っていることが高評価につながったと考えられる。昨年度と同様に生徒指導や教育相談の機能をいかした取り組みを積極的に行ってきたことが少しずつではあるが生徒が好意的にとらえるようになったと考えられる。２年生のデータが他学年と比較すると0.1ポイント低い状況である。生徒個々の丁寧な分析を行い今後の指導に生かし改善しなければならない。

③ 学校運営

学校運営に関しては、「学校の行事や生徒会活動・学級活動、校外学習などの特色ある活動になじんでいると思いますか。」と「本校に入学して良かったと思いますか。」平均値が4.5を越えていておおむね高評価である。本校の学校の特性を生徒が理解するだけではなく、教職員の日々の取り組みや授業研究の成果が現れたデータであり、学校運営に関してはおおむね高評価であると言える。しかし、「学校の施設・設備や備品は安全で、よく整備されていると思いますか。」との質問は、他の質問と比較すると低い傾向にある。空調装置の故障などの施設面での老朽化などが影響していると考えられる。本年度は、空調機器の交換工事などが行われていることもあり来年度は改善することが見込まれる状況である。

④ その他（前年度との比較から）

３年生については、すべての項目で昨年度よりも平均値が向上している。生徒一人一人を大切に考え丁寧に対応してきた成果であると言える。しかし、２年生については、すべての項目で昨年度よりも平均値が低下している。発達段階を考慮したとしても今後について検討が必要なデータであると言える。生徒個々のデータを確認し今後の指導にいかしていかなければならない。

（２）保護者アンケート

評価基準は5・・そう思う　4・・ややそう思う　3・・どちらとも言えない　2・・あまりそう思わない　1・・そう思わない　の5段階です。

	番号	評価項目	学年	5	4	3	2	1	平均	30年度平均	増減
学習指導	1	学校の授業は、わかりやすく工夫をした、充実したものだと思いますか。	1年生	44	50	20	6	0	4.10	4.23	△ 0.13
			2年生	37	40	21	5	4	3.97	3.96	0.01
			3年生	36	32	9	4	0	4.20	4.12	0.08
			全学年	117	122	50	15	4	4.09	4.10	△ 0.01
	2	お子様は、自ら計画を立て、学校外で適切に学習ができていると思いますか。	1年生	27	44	21	22	12	3.42	3.42	△ 0.00
			2年生	25	44	12	24	5	3.57	3.37	0.20
			3年生	30	31	13	6	4	3.91	3.60	0.31
			全学年	82	119	46	52	21	3.63	3.46	0.17
	3	お子様は、積極的に意見を発表したり、自分で課題を解決したりできていると思いますか。	1年生	32	41	27	20	5	3.61	3.43	0.19
			2年生	21	34	35	14	6	3.48	3.64	△ 0.16
			3年生	28	33	13	9	1	3.92	3.63	0.30
			全学年	81	108	75	43	12	3.67	3.56	0.11
生徒指導	4	教員は生徒一人一人の性格や考え方を大切に、良さを伸ばす指導をしていると思いますか。	1年生	36	43	28	10	1	3.87	4.04	△ 0.18
			2年生	24	46	31	5	3	3.77	3.88	△ 0.11
			3年生	29	32	17	3	1	4.02	4.09	△ 0.07
			全学年	89	121	76	18	5	3.89	4.01	△ 0.12
	5	教員は生徒が困った時に親身になって対応していると思いますか。	1年生	41	43	25	8	1	3.97	4.06	△ 0.09
			2年生	34	40	29	2	3	3.94	3.93	0.01
			3年生	38	25	13	4	1	4.14	4.28	△ 0.15
			全学年	113	108	67	14	5	4.02	4.09	△ 0.07
	6	お子様は、ルールやマナーを守り、学年にふさわしい規律や規範意識をもつことができていますか。	1年生	57	51	11	6	1	4.25	4.18	0.08
			2年生	44	48	14	3	1	4.22	4.29	△ 0.06
			3年生	50	28	5	1	0	4.51	4.26	0.25
			全学年	151	127	30	10	2	4.33	4.24	0.09
学校運営	7	学校の施設・設備や備品は安全で、よく整備されていると思いますか。	1年生	52	50	14	4	0	4.25	4.28	△ 0.03
			2年生	39	46	22	1	1	4.12	4.32	△ 0.20
			3年生	33	39	9	1	0	4.28	4.30	△ 0.02
			全学年	124	135	45	6	1	4.22	4.30	△ 0.08
	8	学校はお子様に、将来社会に出た時に役に立つ力をつけていると思いますか。	1年生	49	49	24	2	1	4.14	4.17	△ 0.03
			2年生	31	53	20	2	3	3.99	4.06	△ 0.07
			3年生	39	35	9	1	0	4.33	4.13	0.21
			全学年	119	137	53	5	4	4.16	4.12	0.04
	9	お子様は、学校の行事や生徒会活動・学級活動、校外学習など特色ある活動になじんでいると思いますか。	1年生	69	40	12	5	0	4.37	4.29	0.07
			2年生	47	44	13	3	2	4.22	4.37	△ 0.15
			3年生	54	27	3	0	0	4.61	4.49	0.13
			全学年	170	111	28	8	2	4.40	4.38	0.01
	10	附属中学校に入学させて良かったと思いますか。	1年生	84	24	15	2	1	4.49	4.41	0.08
			2年生	54	29	17	6	3	4.15	4.48	△ 0.33
			3年生	56	16	10	2	0	4.48	4.36	0.12
			全学年	194	69	42	10	4	4.37	4.42	△ 0.05
	11	学校は情報公開や家庭との連絡・連携に努めていると思いますか。	1年生	84	24	15	2	1	4.49	4.41	0.08
			2年生	54	29	17	6	3	4.15	4.48	△ 0.33
			3年生	56	16	10	2	0	4.48	4.36	0.12
			全学年	194	69	42	10	4	4.37	4.42	△ 0.05
	12	学校は国立大学附属学校としての社会的使命を充分に果たしていると思いますか。	1年生	84	24	15	2	1	4.49	4.41	0.08
			2年生	54	29	17	6	3	4.15	4.48	△ 0.33
			3年生	56	16	10	2	0	4.48	4.36	0.12
			全学年	194	69	42	10	4	4.37	4.42	△ 0.05

①　学習指導

項目１「学校の授業は、わかりやすく工夫をした、充実したものだと思いますか」は、学習指導３項目中最も高い評価で、昨年度と比べると0.01ポイントの微減に留まっている。特筆すべきは、今年度の３年生4.20は、昨年度２年生時の3.96から0.24ポイント上昇しているのに対し、今年度の２年生3.97は、昨年度１年生時の4.23から0.26ポイント減少しているという結果である。このように経年分析をしたとき、３年生は上昇しているのに対し、２年生が下降傾向にある項目が、今回の調査の全12項目中

半数の６項目で見られた。また、今年度の２年生が１・３年生よりも低く評価している項目も全12項目中９項目に及んだ。総じて２年生には、自己肯定感が高められるような関わり方に注力していく必要がある。

項目２「お子様は、自ら計画を立て、学校外で適切に学習ができていると思いますか」が最も低い評価で3.63であったが、昨年度の3.46から0.17ポイント上昇している。特に今年度の３年生3.91は、昨年度２年生時の3.37から0.54ポイント上がり改善が見られる。さらに評価１や２をつけた保護者が25%程度いるのは１・２年生のみに留まり（３年生は12%）、その２年生でも昨年度の１年時よりも0.15ポイント上がっている。これらのことから、家庭学習については、特に１・２年生を中心に必要に応じて助言や指導をしていく必要がある。

項目３「お子様は、積極的に意見を発表したり、自分で課題を解決したりできていると思いますか」は、昨年度の3.56から0.11ポイント上昇し、3.67に微増した。学年毎に経年変化を見てみても、今年度の３年生3.92は、昨年度２年生時の3.64から0.28ポイント上がり、今年度の２年生3.48も、昨年度１年生時の3.43から0.05ポイント微増している。一昨年度の教育課程をもって姿を消した「共生ゼミ」が、探究の時間「附中探Q記」として今年度新たにスタートし、「積極的に意見を発表したり、自分で課題を解決したり」する活動を確保できたことが原因の一端といえる。今後も継続して、普段の授業から発表の機会を多くすることで、より良い課題解決を探っていく授業を教師は意識していく必要がある。

② 生徒指導

項目４「教員は生徒一人一人の性格や考え方を大切に、良さを伸ばす指導をしていると思いますか」と項目５「教員は生徒が困った時に親身になって対応していると思いますか」は、いずれも昨年度と比べると微減に留まっている。さらに、この２項目とも、経年分析をしたとき、３年生が上昇しているのに対し、２年生が下降傾向にある項目にあたる。引き続き、生徒観察（生徒理解に努めること）、教員間の連携を意識していくことが重要であり、今後の課題である。

項目６「お子様は、ルールやマナーを守り、学年にふさわしい規律や規範意識をもつことができていますか」の評価は0.09ポイント上昇し4.33と高かった。経年分析でも現２年生、３年生ともに上昇した結果となった。校外学習をはじめとする学年の行事での教師の支援をはじめ、生徒の良心に訴えかける日頃の生徒指導の成果と考えられる。

③ 学校運営

学校運営に関わる６項目の結果は、概ね0.1ポイント未満の微増や微減に留まっている。経年分析をしたとき、３年生が上昇しているのに対し、２年生が下降傾向にある項目は、項目８「学校はお子様に、将来社会に出た時に役に立つ力をつけていると思いますか」、項目９「お子様は、学校の行事や生徒会活動・学級活動、校外学習など特色ある活動になじんでいると思いますか」、項目12「学校は国立大学附属学校としての社会的使命を十分に果たしていると思いますか」の３項目だった。一方で、経年分析で現２年生、３年生ともに上昇した項目は項目11「学校は情報公開や家庭との連絡・連携に努めていると思いますか」で、逆に１年生の低さが目立つ結果となった。１年生の保護者との連絡を密にしていく必要がある。項目10「附属中学校に入学させて良かったと思いますか」は、１年生4.49、３年生4.48に対して、２年生が昨年度4.41から0.26ポイント減少し低さが際立った。本調査を通して浮き彫りになった２年生の保護者の実態を真摯に受け止め、誠意をもって保護者対応を進めていく必要がある。最後に、経年分析で現２年生、３年生ともに減少した結果となった項目７「学校の施設・設備や備品は安全で、よく整備されていると思いますか」については、老朽化に伴い修理が難しい状況が続いてきたGHPエアコン設備が今年度中にほぼ全面的に新調されたことにより改善され、調査結果が今後上昇に転じていくのではと考えられる。

（３）教職員アンケート

評価基準は5・・そう思う　4・・ややそう思う　3・・どちらとも言えない　2・・あまりそう思わない　1・・そう思わない　の5段階です。

	番号	評　価　項　目	5	4	3	2	1	平均	30年度平均	増減	29年度平均
学習指導	1	教員は熱心に工夫をして、授業をしていると思いますか。	20	7	1	0	0	4.68	4.57	0.11	4.48
	2	教員は、生徒自らが計画を立て、学校外で適切に学習ができるよう指導していると思いますか。	6	16	5	1	0	3.96	3.50	0.46	3.78
	3	教員は生徒が自分で課題を解決したり、意見を発表したりする授業をしていると思いますか。	15	12	1	0	0	4.50	4.39	0.11	4.52
生徒指導	4	教員は生徒一人一人の性格や考え方を大切にして指導していると思いますか。	10	15	3	0	0	4.25	4.00	0.25	3.81
	5	生徒や保護者が困ったときに、教員は親身になって対応していると思いますか。	18	8	1	1	0	4.54	4.46	0.08	4.37
	6	教員は生徒がルールやマナーを守り、規律ある生活を送れるように指導をしていると思いますか。	7	10	7	4	0	3.71	3.61	0.10	3.19
学校運営	7	学校の施設・設備や備品は安全で、よく整備されていると思いますか。	3	8	11	4	2	3.21	2.82	0.39	3.81
	8	学校は生徒が将来、社会に出た時に役に立つ力をつけていると思いますか。	10	12	6	0	0	4.14	4.11	0.03	3.78
	9	教育課程や学校行事などの教育活動、入学者選抜や学校評価などが適切に行われていると思いますか。	11	7	10	0	0	4.04	3.64	0.40	3.74
	10	安全点検や保健安全対策、防災対策、情報セキュリティ対策が着実に進められていると思いますか。	7	11	8	2	0	3.82	3.86	△ 0.04	3.93
	11	会議・打ち合わせや校務分掌、生徒指導や保護者対応などについて、校内体制が整備され、円滑に進められていると思いますか。	4	10	9	4	1	3.43	3.57	△ 0.14	3.30
	12	学校全体や各教科、個人の教育実践研究が意欲的に進められていると思いますか。	14	9	5	0	0	4.32	4.04	0.28	3.44
	13	教育実習指導が適切に実施されていると思いますか。	9	14	4	1	0	4.11	4.11	0.00	4.00
	14	大学・学部との連携・協力や地域との連携・貢献が積極的に行われていると思いますか。	11	13	1	3	0	4.14	3.86	0.28	3.67
	15	学校は国立大学附属学校としての社会的使命を充分に果たしていると思いますか。	11	11	6	0	0	4.18	3.75	0.43	3.48

①　学習指導

学習指導で平均４ポイントを下回る項目は、項目2「教員は生徒自らが計画を立て、学校外で適切に学習ができるよう指導していると思いますか。」で平均3.96ポイントとなっている。この項

目は昨年度3.50であったので、限りなく4ポイントに近づいてきている。本校の教育目標に照らし合わせ、自律した学習者を育成することを目標に、汎用性のある学習を意識し、指導を行っている。その成果が徐々に現れてきたと捉えられる。

また、全項目において、昨年度よりも上回る結果が得られた。教員それぞれが学習指導に前向きに取り組み、授業改善を意識していることが伺える。

② 生徒指導

生徒指導で平均４ポイントを下回る項目は、項目6「教員は生徒がルールやマナーを守り、規律ある生活を送れるように指導していると思いますか。」で平均3.71ポイントであるが、昨年度よりは0.1ポイント上昇となった。本校は校則やルールに縛ることなく、生徒自身が考えて行動規範を設けたり、判断したりすることを求めている。学校側の提示したルールやマナーを守ることが大切なのではなく、子ども自身が様々な経験や失敗を通して判断基準を持つよう指導している。その点で、今後更に全職員が指導の基準や方向性を共通理解できる場を設けていくことが大切となる。

③ 学校運営

学校運営に関しては、生徒・保護者と教員とで、評価に違いが見られた。運営する教員側の評価が低いのは、自己改善への意欲の表れでもある。以下は平均4ポイントを下回る項目についての考察である。

項目7「学校の施設・設備や備品は安全で、よく整備されていると思いますか。」は3.21ポイントで、昨年度よりも0.39ポイント上昇している。老朽化によるエアコンの不調や、施設の不備など、昨年度、低評価の原因となった点については、現在工事や修繕が行われている。改善の動きが見られたことへのプラス評価であると考えられる。

項目10「安全点検や保健安全対策、防災対策、情報セキュリティ対策が着実に進められていると思いますか。」は3.82ポイントである。昨年よりも0.04ポイント減少である。本年度は、台風15号等による甚大な被害があった。登校前の判断や帰宅についての指示、保護者会開催についての判断などが問われた。このような場に応じた対応についてもどのような対策がとれるか検討し合っていく必要がある。また、情報セキュリティについても教員の意識改善が求められる。この点に関しては、今後も研修を行っていく。

項目11「会議・打ち合わせや校務分掌、生徒指導や保護者対応などについて、校内体制が整備され、円滑に進められていると思いますか。」は3.43ポイントである。昨年よりも0.14ポイントの減少である。本年度は生徒支援や生徒指導、保護者対応の件数が多く、また、案件も多様で、それぞれに対応しなければならない場合が多かった。生徒への支援や家庭への連絡も担任を中心に迅速に、そして密に取っている。このような支援体制が教員の過重負担になっていることは否めない。また、対応に関しても、学年や生徒指導部・教育相談部が連携して対応していく必要がある。しかし、その煩雑さについては少しでも軽減できるよう再考する必要がある。スクールソーシャルワーカーや相談員、カウンセラー、千葉大附属病院との連携など、常在しない関連者に伝達する方法や内容の精選、優先順位、解決策について、模索していけるよう、検討していく必要もあるだろう。

項目14「大学・学部との連携・協力や地域との連携・貢献が積極的に行われていると思いますか。」は3.86ポイントで、昨年よりも0.19増加である。本校の特色である大学との連携や地域への貢献についての意識が高まってきていることが伺えるが、さらなる連携が必要である。特に小学校との連携は本年度も中学校側の教員が小学校に出向いて中学校の紹介をして連携強化に結びつけようとしたが、更に連携・交流できる計画を練っていく必要がある。

次項目の二つは４ポイントを超えて評価されたが、本年度の改革に伴って数値が上昇したと考えられるので、特記しておく。

項目9「教育課程や学校行事などの教育活動、入学者選抜や学校評価などが適切に行われていると思いますか。」は4.04ポイントで、昨年よりも0.40ポイント上昇している。本年度は入学者選抜の方法を刷新した。入学者選抜の方法については根本に本校の教育理念を反映し、求める生徒像について教員で共有する場も設けた。また、教育課程検討委員会を設けて次年度のあり方を検討し、行事の目的や教育活動の理念の共通理解も図ることができた。このような点が上昇した理由として挙げられる。

項目15「学校は国立大学附属学校としての社会的使命を充分に果たしていると思いますか。」は4.18ポイントで、昨年度よりも0.43ポイント上昇した。これも入試改革が大きく働いたものと考えられる。

また、本年度は関附連千葉大会が開催され、本校も会場校として全職員が何らかの役割を担った。このことにより、国立大学附属学校としての使命を共通理解でき、国立学校の附属学校であるという認識を新たにすることができたのではないかと考える。

４　学校評価（自己評価）の総括

（１）学習指導

本校においては、年間を通して断続的に教育実習生を受け入れていることをはじめ、公開研究会をはじめ外部の方に授業を見ていただく機会、さらには校内研修として教員が相互に授業を見る機会が豊富に設けられており、さらに今年度は関附連千葉大会が開催されたこともあって、各教員が日常的に授業の充実、改善を図ることが継続的に求められてきた。また、教育課程を見直し、総合的な学習の時間の中で３学年合同のゼミ方式による「附中探Ｑ記」を設け、生徒たちが時間をかけて探究的な学習に取り組むこともできた。

アンケート結果においても、授業についての評価は総じて高く、昨年度低かった項目においても向上が見られる。しかしながら、計画的な学習や積極的な課題解決等についてはまだ改善の余地があることがうかがわれる。また、一部項目については学年によって評価が分かれている点も見られ、学校全体ばかりでなく学年単位で学習指導の改善を進める必要があることがうかがわれる。生徒の多様性を前提に、探究的な学習や課題解決的な学習について研究を進め、授業をさらに改善すべきことがうかがわれる。

（２）生徒指導

生徒たちに多様な課題が見られることを前提に、今年度も生徒指導や教育相談等の課題に関して、組織的で迅速な対応がとれるよう、体制を整備してきた。毎週時間割内で開催される教育相談部会及び生徒指導部会において、多くの案件を共有するとともに重篤な案件について時間をとって検討し、機動的な対応をとれるようにしている。今年度よりスクールソーシャルワーカーが配置され、スクールカウンセラーや教育相談員、大学の教員といった人々を含む体制を構築し、多様な課題に対して家庭や他機関とも連携した対応を進めてきた。養護教諭が中心となって保護者と教員とが子育てについておしゃべりする会を定期開催する等、学校の実態に合わせた取り組みも進められている。

アンケート結果においても、こうした取り組みはおおむね高評価を得ている。ただし、保護者アンケートにおいては学年によって評価が分かれている点も見られることから、引き続き取り組みの改善を図るとともに、保護者に適切に状況を知らせていく必要がある。

（３）学校運営

学校運営に関しては、国立教員養成大学附属学校にふさわしい学校運営を目指し、施設・設備の改善や教員の「働き方改革」の推進等、さまざまな課題について対応を進めている。「働き方改革」に向けた教員の業務の見直しに関しては、ともすると教育活動や研究活動の削減や改悪につながりかねないことから、年間を通して教職員の間で議論を重ね、共通理解を図りながら対応を進めており、限られた時間でいかにして教育活動や研究活動の改善を図るかという観点で来年度に向けた計画を生徒や家庭の協力を得つつ、検討している。本校が求める生徒像に合わせた大幅な入試改革を行い、改革後に初の入学試験を実施できたことも重要な成果である。また、年度末には長年課題となっていたGHP方式のエアコンの修理が完了した。

アンケート結果においては、生徒や保護者からの評価はおおむね高いものの、教職員による評価には一部の項目において厳しい状況が見られる。来年度には一連の改革に一定の区切りをつけ、教職員が一定の見通しを共有して教育活動や研究活動にあたれるようにする必要がある。

国立大学教員養成課程に求められている地域連携・社会貢献については次の表の通りである。それぞれの教員は多岐に亘る活動を行い、その使命を果たした。

活動の内容		計
①学生スクールサポーターの活用	学習指導	9
	学校行事	2
	生徒会活動	1
	部活動	5
②研修指導講師 各種役員 等	教員対象研修講師	18
	児童･生徒対象研修講師	3
	公開研究会	1
	教育行政(国･県･市)や団体の委員、研究協力	5
	教育行政や団体の運営実務(役員)	12
	教育関係講演会講師･シンポジスト等	3
	研修派遣の受入(他国･他校から)	5
	部活動･体育関係団体の運営実務(役員)	11
	その他	4
③外部資金の獲得･受賞	外部資金(科学研究費等)の獲得	1
	受賞	0
④研究発表	論文(学会等)	6
	口頭発表	10
	執筆(本･雑誌等)	4
教育学部連携研究への参加		20